

図書館だより

2月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29				

○印 休館日
月曜日・祝日(11日)
月末館内整理日(29日)

今月の新刊図書案内

一般図書
痛快！コンピュータ学 坂村 健
手にとるように哲学がわかる本 甲田 烈
徳川三代なるほど事典 加門七海
黄金結界 野口悠紀雄
「超」旅行法 東日本編・西日本編
車で行く公共の宿
お値打ちハワイ 山下マヌー



市立図書館 今月の一冊

『人名のひみつ』

国松俊英 文 熊谷さとし 絵
岩崎書店

人の名前には秘密がいっぱい。「日本で、一番多い名字」「名字からわかる祖先の仕事」「日本一長い名前」「年ごとに変わる名前」「名前のことわざ」など、日本人の人名に関する、ためになる話・面白い話を紹介する。

『家族卒業』

速水由紀子 著 紀伊國屋書店

愛の名の下に子供に過干渉する母親、家族を自分の所有物のように扱う父親、親子関係に縛られ自立できない子供…。事件やインタビューを通じて、日本人の家族観や現代の家族の問題を明らかにし、新しい家族のあり方を探る。



日本の論点2000 文藝春秋
すぐ役立つ文書・書式大事典
サラリーマンの自殺 日本語文書研究会
介護のあした 信濃毎日新聞社
大人になれない
この国の子どもたち 町沢静夫
裏切り者の細胞がの正体
ロバート・ワインバーグ
生活習慣病を予防・改善する体によいおかず
快適な家づくり500の実例集
京・銘菓案内 鈴木宗康
ウーさんのおうち中華 ウーエン
パイアグラな人々 家田莊子
図解インターネットビジネスが
よくわかる 館谷浩司
コックピット風雲録 乙訓昭法
新聞紙クラフト エキグチクニオ
ハーモニカの本 斎藤寿孝
菊次郎とさき ビートたけし
歌舞伎ッ！ 中村勘九郎
論文・作文カンタン上達法 石田修大

芭蕉句碑散策 福井栄一
壊れた学級 小山内美江子
金輪際 車谷長吉
問題温泉 椎名 誠
日曜日の夕刊 重松 清
桶の立つ岡 津本 陽
大阪・東京ゼニカネ文化論 藤本義一
愛なんか 唯川 恵
人生の目的 五木寛之
あした見る夢 瀬戸内寂聴
さゆり 上・下 アーサー・ゴールデン
屏の中 デニーズ・ミーナ
沈黙 ロバート・B・パーカー
恋愛小説 カトリヌ・クレマン
ディフエンス ウラジーミル・ナボコフ
外二一五冊
児童図書
中学生の教科書
ヘレン・ケラーを支えた
電話の父・ベル博士
ただいまお仕事中
算数でホラー
どうぶつのきたないもの学
あたらしい自動車ずかん
ぼくは農家のファールブルだ
トランプマンの奇跡のマジック
ズッコケ三人組の
バック・トゥ・ザ・フューチャー
はしれ江ノ電ひかりのなかへ
どばびょん
ハリ・ポッターと賢者の石
スウィート・メモリーズ
みんなのいいぶん
白い月の笑う夜
おつかい
あなたがまれたひ
すきなのだあれ？
ロンポポ

子どもの将来のための 育児をしよう

親は誰もが、わが子が誕生すると「丈夫に育て、賢くなれよ」などと、誕生の喜びとともにいろいろな願いをもって育児に当たられることでしょう。

そのためには、幼児から小学校までにやるべきこと、身につけるべきことがたくさんあります。

例えば、自分のことは自分でできるようにする。仲間と協力して仲良く遊べる、片付けや挨拶ができるなどいろいろな身につけて実行できるようなしつけ、体や心を十分に育てるなど、この時期に身につけなければならぬことがいっぱいあります。

子どもは幼児期に入ると今までの依頼的な態度から自分を確かめるかのように自分でしたがるようになります。

これが自立への第一歩です。このようなとき、子どもがうまくできなかつたり、時間がかかつたりすると、まわりの大人はつい手を出したりして、子どもの自立の芽を摘んでしまつたりしがちですが、子どもはいろいろなことが、うまくできないのが当たり前で、それが危険でないかぎり、へたでも自分でやらせることが自立への近道であり、知恵の芽生えでもあります。

大人の子どもの禁止や手助けが多すぎると子どもの心身の発達に妨げになります。

子どもには積極的にやらせることが子どもの積極性や自信を深めさせることに連なります。

現在は、子どもが少なくなったためか、子どもに手が行き届き過ぎて、必要以上に手をかけ、子どもの自立を遅らせる傾向にあるのではないのでしょうか。

ある母親が「自分は子どもに大きな財産や富を残してやれないので、せめて、しつけをしつかり身につけさせ、自分の生活をしつかり築ける子に育ててやりたい。自分にできるのはこの位のことだ」と言っていました。

これこそ人間教育であり、こうした基礎が基となつて何事も意欲的で、責任を果たし、思いやりもあり、人から信頼される人間に成長するのではないのでしょうか。

幼児から手をかけず、放任するもの親として無責任ですが、手をかけ過ぎるのも問題です。

親はわが子の自立を目指しながら、適切な助言と指導を子どもに与えてやる必要があります。

教育には「教える場」と「学ばせる場」がありますが、子育ても「教える場」ばかりだと子どもは自信がなく、消極的で依頼心が強くなつてしまいます。

「経験が何よりの学習であり、力となる」のです。

子どもの悩みごとは

教育相談室へ

(八潮屋台展示庫前)

月・金

午前9時

午後4時30分

☎(43) 1323